



ラジオと映画

笠原健太朗会員

私共(株)千代田ホテルは、創業1932年(昭和7年)から1972年(昭和45年)まで、神田でホテルを運営し、その後はオフィスビルとして生まれ変わりました。

笠原の本家の「笠原十兵衛薬局」は、長野で18代続く日本で最も古い薬局です。今も営業しています。創業は1543年(天文12年)ちょうど徳川家康公の生誕の年に当たります。看板商品は日本初となる目薬「雲切目薬」です。1500年代鉄砲伝来のポルトガル人から、その製造方法を伝授されたという伝説があります。

当時は貝殻の器に、蜂蜜、胡麻油、金箔、墨汁、黄蘗(おうばく)の煮汁等の成分の軟膏が入っていて、それを水で溶いて使用していましたが、30年前に蜂蜜を目薬に入れることを国に禁止されましたので、1998年の長野オリンピックの年に、新しい処方て昔から付き合いがあった佐賀製薬に製造を委託し復活を遂げました。新目薬は本家の薬局でしか購入できません。せっかくの歴史が埋もれ廃れないように、目薬を名刺代わりに配り、知ってもらふことに力を入れています。インターネットでも買えるようにしました。

私の父は厳しい人で、大学卒業後から32歳まで家を出され、家業とは全く異なる業種の小さい会社に就職しました。しかし、2008年、千代田ホテルの建て替えを機に実家に戻り、千代田ホテルの社長に就任することになったのです。

千代田ホテルのことを調べてみると、歴史が古く、商工会、ビル協や法人会などに所属していて、私の仕事はその会合に出席することでした。おかげでいろんな方と知り合うことができました。また、そのつながりで映画監督や東京FMの偉い方とも知り合い、人づてだけでラジオや映画製作へとつながりました。

「ラジオのプロデューサー」

毎週水曜日の夜21時から東京FMで30分の音楽番組のプロデューサーをしています。『Muro Presents KING OF DIGGIN'』という番組で、DJのMuroさんは業界では有名で、株式会社リズムメディアに所属、MISIAの曲などを手がけています。世界1と言っているほどのレコード枚数、10万枚ぐらいを所蔵しています。それも好きなアーティストや好きなプロデューのものばかりです。この番組は、彼の所蔵しているレコードの中から毎回テーマを決めて集め、ただひたすらかけまくりです。テーマは西條秀樹特集、「東京」がタイトルについている邦楽などと自由に決めています。



今、若い人たちの間では1点物のレコードが人気があり、高値で取引されている状況なので、それを引っ張っていくような番組にしたいと思いました。これもいろんな方たちと知り合えたおかげで実現したことです。

「大コメ騒動」

次に映画の話です。本木監督は富山県出身、「釣りバカ日誌」や「超高速!参勤交代」の監督で、松竹を独立した時に仲良くなりました。映画のことなど何もわかりませんが、何かお手伝いできないかと考え、神田で監督のパーティを何回か開催しました。しかし、映画の軍資金を集めることは難しく、私は少し出すぐらいしかお手伝いできませんでしたが、それでも繋がりのお蔭で映画を完成することができました。

「大コメ騒動」は100年前に富山県で起こった騒動です。しかし、実際には記録が揃っていません。本当にあったいくつかの話をマージして作りました。

先週やっと情報公開になりました。富山県では2021年1月1日公開、全国では1月8日公開です。井上真央を主演に迎え、夏木マリ、室井滋、立川志の輔、西村まさ彦、柴田理恵、左時枝ら富山県出身の俳優が顔をそろえています。私も監督の無茶ぶりで1秒ぐらい出演しています。是非ご覧頂いて私を探してください。



大コメ騒動 あらすじ

富山県の海岸部で発生した「米騒動」で活躍した女性たちの姿を痛快に描いた。1918年(大正7年)8月、富山の海岸に暮らすおかか(女房)たちは、毎日上がるコメの価格に頭を悩ませていた。夫や育ち盛りの子どもたちにコメを食べさせたくても高く買えない現状に困ったおかかたちは、コメを安く売ってくれと米屋に嘆願に行くが失敗し、おかかたちのリーダーであるおばばが逮捕されてしまう。おかかたちの願いもむなしく、コメの価格高騰はとどまることを知らなかった。そんな中、ある事故をきっかけに、我慢の限界を迎えたおかかたちがついに行動に出る。

